

外国語科

I 中国語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II 中国語の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講しない	開講しない
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の初歩を学習し、日常会話等ができるようになる。 ・中国語の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学ぶ中学一年生で学んだ中国語の初歩をさらに深めた学習し、日常会話等ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ教材など聞き取り練習。 ・スキットの作成、発表。 ・文法、語法の演習。 ・日記を書き、基本的な文をかけるようにする。 ・暗唱などの口頭発表活動。
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学二年生で学んだ中国語をさらに発展させて学習し、日常会話等をできるようにする。 ・中国の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学、その知識をさらに深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ教材など聞き取り練習 ・スキットの作成、発表 ・文法、語法の演習 ・日記を書き、基本的な文をかけるようにする。 ・暗唱など口頭発表活動 ・副読本を読む
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだ中国語をさらに発展させ学習し、日常会話等から実際に使うことができる中国語を習得する。 ・中国の歴史と文化の特徴を学び、その知識をさらに深め、自らの考えを表現する能力と態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを中心とした発展的活動 ・文法、語彙、表現力を強化する活動 ・副読本を読む ・聴解力強化 ・スピーチ、ダイアログを行う
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学と高校一年で学んだ中国語をさらに発展させ学習し、日常会話等から実際に使うことができる中国語を習得する。さらに自分の意見を表現できるようにする。 ・中国の歴史と文化の特徴を学び、その知識をさらに深め自ら考え表現する能力と態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを行う ・やさしいニュースを聞く ・文法、語彙、表現力を強化する活動 ・副読本を読む ・聴解力強化 ・スピーチ、ダイアログを行う
	6年	<p>大学入試(共通テスト・私大入試)で扱われている中国語に対応できるだけの能力をつける。</p> <p>大学入試問題(採用している大学のみ)などの演習を実施 【長文理解に加えて、背景を学ぶ】 【いろいろなテーマについて内容豊かに描く】 【話し合ったり、討論したりする】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文法、語法、構文の演習 ・語彙増強 ・読解力の向上 ・リスニングテストで聞き取り練習 ・各自の必要に応じた力の伸長 ・プレゼンテーションを行う

* 高校生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語
 科目名 中国語
 対象 2 学年選択

I 学習到達目標

- 1 初歩的な中国語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 2 中国語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身に付ける。
- 3 中国語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書 なし
 補助教材 高校生からの中国語（小溪教材研究チーム、白帝社）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		予定なし		
	4 5	授 業 内 考 査	声調（四声）母音と子音 正確な発音の学習 簡体字の書き方について 名前の言い方、聞き方 数字について	30	補助プリント ・初歩の中国語を使い、簡単な会話表現を学ぶ。 ・つづり字と発音の関係を学習する。 ・基本的な文構造を学習する。 会話表現 ・日常表現を学び、活用する。 語彙 ・市販の初級テキストで扱われている語彙を学習し、小テストを実施。 ・暗唱テストを実施し、定着を図る
	6 7	授 業 内 考 査	月日の言い方 誕生日、年齢 「是」の肯定文、否定文、疑問文 学校紹介文	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト ・学んだ文法事項の活用を図る。	
	夏休み 宿 題		自己紹介文暗記	暗唱テスト	
二 学 期	9 10	授 業 内 考 査	形容詞 形容詞を覚え、作文する 「有」の肯定文、否定文、疑問文 動詞（聞く、見る、食べる、買うなど） スポーツの言い方	30	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト ・学んだ文法事項の活用を図る。 ・学んだ文法事項の活用を図る。
	10 11	授 業 内 考 査	反復疑問文（反復疑問文を理解し、作文する） 時間 一日のスケジュール 買い物の表現（お金など）	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト	
	冬休み 宿 題		単語		
三 学 期	1 2 3	授 業 内 考 査	職業名、電話会話文 完了を表す“了”アスペクトの理解 道案内、交通手段。	18	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト
				計 78	
評 価	以下の観点を総合して評価する。 ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・中国語での簡単な発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、中国語や文化についての知識・理解をはかる。				

教科名 外国語
 科目名 中国語
 対象 3 学年選択

I 学習到達目標

- 1 初級で学んだ基礎を生かし、より使える中国語を学んでいく。
- 2 生徒の学びたい興味ある学習内容を生徒と一緒に考え、語学力を上げていく。
- 3 中国語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書 なし
 補助教材 中高版しゃべっていいとも中国語（陳淑梅、朝日出版社）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		予定なし		
	4 5	授業内 考查	母音、子音、声調 人称代名詞 動詞（是） 助詞（的） 連動文	補助プリント ・母音、子音表 ・基本的な文構造を学習する。	30
	6 7	授業内 考查	助動詞（想） 動詞（有） 指示代名詞 動詞（在） 前置詞（从）（往） 方位詞	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト ・学んだ文法事項の活用を図る。	
	夏休み 宿 題		道案内会話文暗記		
二 学 期	9 10	授業内 考查	道案内会話文 量詞 形容詞述語文 年月日曜日 動詞の重ね型	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト	30
	10 11	授業内 考查	時刻 文末の（了） 完了を表す助詞（了）	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト	
	冬休み 宿 題		買い物内会話文暗記		
三 学 期	1 2 3	授業内 考查	買い物会話文 前置詞（給） 助動詞（可以）（能）（会） 進行形	プリント 単語 暗唱テスト グラマーテスト	18
					計 78
評 価	以下の観点を総合して評価する。 ・毎学期の定期考查により、知識・理解度をみる。 ・中国語での簡単な発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考查などで、中国語や文化についての知識・理解をはかる。				

教科名 第2外国語
 科目名 中国語（初中級）
 対象 4学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中国語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 2 中国語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身につける。
- 3 中国語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 2 定期的な単語テストや小テストを行い、基礎文法の定着をはかる。
- 3 暗唱テストや口頭発表を行い、発音、聴解力の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書（準教科書）ステップアップ実践中国語（綾部武彦 他、白帝社）
 補助教材 なし

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題	予定なし		
	4 5	1学期 中 間 考 査	「動詞+起来」、「只要～就～」、「会～的」、 「動詞+错」、「只有～才～」、「除了～以外」、 「～时」、「～的」、「才」、「等～的时候」	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト 作文テスト	30
	6 7	1学期 期 末 考 査	「打算」、「疑問詞の不定用法」、「可」、「还」、 「虽然～但是～」、「一～就～」、 「准备」、「即便～也～」、「～就可以了」、 「等～以后～」、「请A帮B動詞」	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト 作文テスト	
	夏休み 宿 題	宿 題	単語		
二 学 期	9 10	2学期 中 間 考 査	「不管～还是～」、「動詞+见」、「～之前」、 「不用」、「不と没有」、「对～来说」、 「就要～了」、「結果補語（動詞+好/在）」、 「让」、「就是说」、「再」	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト 作文テスト	30
	11 12	2学期 期 末 考 査	「只是」、「通过」、「像」、「可」、「是～的」、 「不是～就是～」、「要是～(的话)就～」、 「就是指～」、「就是～也～」、「向」	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト 作文テスト	
	冬休み 宿 題	宿 題	単語		
三 学 期	1 2 3	3学期 学 年 末 考 査	「又～又～」、「不是～而是～」、 「～就行了」、「多～啊」、「为了」、「有」、 「被」、「刚刚」、「即～又～」、「在～以上」、 「動詞（+了）（+目的語）+以后」	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト 作文テスト	18
				計 78 (2単位)	
評 価	以下の点から総合して評価する。 ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・中国語の発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、中国語や文化についての知識・理解をはかる。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三観点から評価する。				

教科名 外国語
 科目名 中国語（中級）
 対象 5 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中国語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 2 中国語の応用的な表現を学習し、それを使い、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身につける。
- 3 中国語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。
- 4 大学入試レベルの長文を理解できるようにする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 2 定期的な単語テストや小テストを行い、基礎文法の定着をはかる。
- 3 暗唱テストや口頭発表を行い、発音、聴解力の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書（準教科書） 総合中級中国語教程（李錚強、白帝社）
 補助教材 なし

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容			
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題	予定なし			
	4	1 学期 中 間 考 査	「都と也」、「都と才」、 「就と才」、「再と又」、「还と再」	30		
	5					プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト
	6	1 学期 期 末 考 査	兼語文、反語表現、存現文	30		
7	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト					
	夏休み 宿 題	宿 題	単語			
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	疑問詞の連用、「拿～来说」、 「先～再～」、「要是～就～」	30		
	10					プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト
	11 12	2 学期 期 末 考 査	「如」、「不但～而且～」、「值得～」、「可见」、	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト		
	冬休み 宿 題	宿 題	単語			
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	「总之～」、「有时～有时～」、 「反正」、「当～时」	18		
	2					プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト
	3					
				計 78 (2単位)		
評 価	以下の点から総合して評価する。 ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・中国語の発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、中国語や文化についての知識・理解をはかる。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三観点から評価する。					

教科名 外国語
 科目名 中国語（上級）
 対象 6 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中国語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 2 中国語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身につける。
- 3 中国語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。
- 4 共通テストの過去問を解けるようにする。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 2 定期的な単語テストや小テストを行い、基礎文法の定着をはかる。
- 3 暗唱テストや口頭発表を行い、発音、聴解力の定着をはかる。

III 教科書・補助教材

教科書（準教科書）総合中級中国語教程（李錚強、白帝社）
 補助教材 配布プリント

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題	予定なし		
	4	1 学期 中 間 考 査	「把～当成」、「在～方面／中／上／下～」、 「给～以～」、「在～看来～」	60	
	5				
	6	1 学期 期 末 考 査	「而」、「一方面～（另）一方面～」、 「按照～」、「以」	60	
7	プリント 暗唱テスト 単語、文法テスト				
	夏休み 宿 題	宿 題	単語		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	共通テスト過去問、新HSK 4 級過去問	60	
	10				
	11 12	2 学期 期 末 考 査	共通テスト過去問、新HSK 4 級過去問	60	
	冬休み 宿 題	宿 題	単語		
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	共通テスト過去問、新HSK 5 級過去問	36	
				計 156 (4単位)	
評 価	以下の点から総合して評価する。 ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・中国語の発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、中国語や文化についての知識・理解をはかる。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三観点から評価する。				